

「きたみキャリア通信」について

「きたみキャリア通信」は、3年生を対象とした進路情報などをお伝えするお便りです。本校では、「きたみキャリア通信」を1・2年生にも配布しています。3年生の進路の予定を知るとともに、今後の見通しに役立てていただければと思います。また、裏面には3年生の一年間の動きを簡単に掲載しています。参考にしてください。

キャリア教育って…？

「進路指導」が、「キャリア教育」と呼ばれるようになってずいぶんと経ちますが、そもそも『キャリア(career)』の語源は、ラテン語の「carraria」で、荷馬車が通ったあとの轍(わだち)を意味します。そこから『キャリア』とは、個人が人生を通して経験し、発展させていく、仕事を含む人生の歩みや進路を指す言葉となりました。

これまで生徒たちは、小学校から様々なことを経験してきました。係や委員会の仕事、当番活動も、立派な「キャリア」です。その経験が、みなさんを形づくってきたのです。

これからも中学校で多くのことを経験します。その経験すべてが、生徒たちの新たな「キャリア」となります。振り返ったときに素晴らしい轍(わだち)ができることを願っています。

また、キャリア教育には4つの育てたい目標があります。①人間関係形成・社会形成能力 ②自己理解・自己管理能力 ③課題対応能力 ④キャリアプランニング能力 となります。①は今後の社会に自ら関わろうとする力、②は今後の成長のために自分を知り、成長させようとする力、③課題を発見し、解決しようとする力、④自らキャリアについて考え、計画する力ととらえることができます。

つまり、①～④を要約すると「自分がどう生きたいか」とすることができます。ぜひ、この中学校生活の中でこれからどのように生きていきたいか、自分の未来とむきあってみてください。

本校のキャリア教育

世田谷区では、「キャリア・未来デザイン教育」を重点とした教育施策を展開しています。本校ではその実現のため、①自己の生き方について将来の展望をもち、諦めずに挑戦できるしなやかで強い意志を育てる ②自己決定を促す自由な学びの場を通じ、特に生徒の主体性の伸張を図る ことを目指しています。

キャリアパスポートが轍(わだち)となる

キャリアパスポートは、全国の小中高校で作成・活用しているポートフォリオです。本校でも学期の初めや終わり、行事などで、自分で目標を立て、そのために取り組むことを考え、振り返ることで、見通しを立てる力の育成、自己の成長に役立てています。また、月に一度「モーニングキャリア」を活用し、細やかに自分の活動を振り返り、自己実現につなげています。

キャリアパスポートを読み返すことで、自分のこれまでの轍(わだち)を確認しながら、思い描く未来に近づけるようにして欲しいと願っています。

3年生の1年間のスケジュール

月	学校の動き	家庭での取り組み
6	修学旅行説明会 期末考査 進路希望調査	<ul style="list-style-type: none"> ・HP等を利用し、上級学校について調べる。 ・家庭でコミュニケーションをとり、将来や進路について話し合う。
7	進路説明会 進路希望調査 三者面談	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の成績をもとに具体的な進学先や卒業後の進路について考える。
8	学校見学	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方とお子様で多くの学校へ ・今までの学習の総復習を行う。
9	進路希望調査 定期考査 修学旅行	<ul style="list-style-type: none"> ・中間考査の対策とともに進路希望調査の内容をより具体的に。
10	合唱コンクール 進路希望調査 進路説明会 進路面談(3年生のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・志望校を具体的に。(2学期の成績が上がった場合、変わらない場合、下がった場合の最低でも3つほど) ・推薦などの受験形態を決定する。
11	定期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・12月の面談で私立高校の推薦、併願優遇、都立高校の推薦入試受検を決定する。 ・受験校はここで決定。
12	三者面談 校長面談開始予定	
1	私立高等学校等推薦入試	<ul style="list-style-type: none"> ・受験校や受験形態、出願・試験日時などを生徒、保護者、担任で連絡、確認をとる。 ・特にネット出願が主流のため、出願日や入金日等のスケジュール管理を綿密に。
2	学習成果展覧会 私立・公立高等学校一般入試 定期考査	
3	進学先決定 卒業式	<ul style="list-style-type: none"> ・最後まで油断せず、進学先への手続きを期日通りに行う。 ・喜多見中生として最後まで後輩の手本として過ごし、新しい門出の時へ